

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CDDP+Durvalumab
療法
(short hydration)
3 週毎 4 コース予定
疾患名 小細胞肺癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()
スケジュール

		day1	day2	day3
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓		
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓
シスプラチン	75 or 80 mg/m ²	↓		

- 【注意】
- * 他剤使用時はデュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 - * デュルバルマブ投与時は0.2又は0.22 μ mのインラインフィルターを通して投与すること
 - * 体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は、20 mg/kgとすること
 - * 一日の尿量が3000 mL以上になるように調整すること
 - * シスプラチンは遮光のこと
 - * 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500 mLを1日2本飲水すること
 - * エトポシド投与時はDEHPフリー点滴セットを使用する

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
- ◎ メインの生食でフラッシュ
- ③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq 点滴静注60分(500 mL/時間)
- ④ アロカリス 235 mg + パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)
- ⑤ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

- ⑥ 20%マンニトール 200 mL

点滴静注30分(400 mL/時間)
- ⑦ シスプラチン + 生食 適量(全量500 mL)

点滴静注120分(250 mL/時間)
- ⑧ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

- ① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL

側管静注
- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL

点滴静注90分(360 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 4

- ① デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL

側管静注

	1コース目			2コース目		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時間	↓			↓		
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						

	3コース目			4コース目		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時間	↓			↓		
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						